

# 坂出市新庁舎建設市民会議

## 第4回会議 次第

と き 平成25年 2月14日(木)9 :30～

ところ 坂出市役所 3階委員会室

- 議事
1. 新庁舎建設の基本理念，基本方針について
  2. 新庁舎建設に向けたスケジュールについて
  3. 次回の予定等について

# 新庁舎建設基本構想での基本理念・基本方針（案）

## 基本理念の考え方

本市の新庁舎建設の背景には、昭和32年の建設から55年が経過し建物全体が老朽化していること、平成21年に実施した本庁舎の耐震診断において耐震性能が大幅に不足している結果となったことがあげられる。これらのことを受け、耐震改修の工法（PCa外フレーム補強、免震補強等）も検討したが、本庁舎自体の使用可能期限や耐震改修の費用対効果、今後ますます多様化する行政需要への対応など総合的に判断すれば、新庁舎の建設が必要であるとの結論に至ったものである。

近い将来高い確率で発生が予想されている南海・東南海地震などの災害時にも十分な防災性能を発揮し、市民が安心して利用できる庁舎を早期に整備する必要がある。

そのうえで、新庁舎を建設するにあたっては、防災拠点としての機能を備えることはもちろんのこと、今日の多様化する行政需要のなかで、市民サービスの向上を図るとともに、市民との協働を推進する場としての役割を担い、広く市民に親しまれ環境にもやさしい庁舎としなければならないと考える。

## 基本理念

近い将来高い確率で発生が予想されている南海・東南海地震などの災害時にも十分な防災性能を発揮し、市民が安心して利用できる庁舎を早期に整備する必要がある。そのうえで、防災拠点としての機能を備えることはもちろんのこと、今日の多様化する行政需要のなかで、市民サービスの向上を図るとともに、市民との協働を推進する場としての役割を担い、広く市民に親しまれ環境にもやさしい庁舎としなければならない。

以上のことから、新庁舎建設の基本理念を次のとおり定める。

「安全・安心で利用しやすく人と環境にやさしい庁舎」

参考 政府・地震調査研究推進本部  
全国地震動予測・長期評価より

南海トラフの地震発生確率 H25.1.1

地震名	地震規模 (マグニチュード)		地震発生確率		
	10年以内	30年以内	50年以内		
南海地震	8.4前後	同時発生 8.5前後	20%程度	60%程度	90%程度
東南海地震	8.1前後		20%程度	70~80%	90%程度もしくはそれ以上

今後30年以内に震度6以上の揺れに見舞われる確率(県庁所在地/抜粋) H24.12.21

所在地	2012年(%)	2010年(%)	差
徳島	64.2	61.2	+3.0
高松	44.1	41.9	+2.2
松山	35.7	34.2	+1.5
高知	66.9	63.9	+3.0

## 基本方針の考え方

(基本理念をより具体化した基本方針を定める。)

庁舎は多くの市民等が集まる公共施設であり、大規模な地震、風水害等の災害発生時に人々の生命や、市の行政情報、個人情報を守ることで基本的な構造を有する施設であることが求められる。そのうえで、災害時に迅速かつ的確に対応できる機能を備えた施設とする必要がある。

これからの庁舎は、障がい者や高齢者など特定の人々に対する障害を取り除くということ(バリアフリー)に限らず、外国人も含めて可能な限り全ての人が利用しやすく、また、市民と行政が接する場所として市民との協働を促し、行政情報や文化を通じて市民との連携が図れる場として、広く親しまれる施設とする必要がある。

厳しい財政状況のなかでの庁舎建設ということを改めて認識するとともに、建設から運用、廃棄までのライフサイクルを通じ、地球環境への負荷を少なくし、環境保全対策の模範となるべき施設とする必要がある。

また、今日の急速な高度情報化や地方分権の進展など地方行政を取り巻く環境の変化は著しいものがあり、組織機構や職員数の変化に迅速かつ柔軟に対応できる庁舎とすることが、将来にわたってのコスト縮減につながると考える。

## 基本方針

- 安全と安心の確保
  - 高い防災性能を有し、安心して利用できる施設とする。
  - 災害時に対策本部としての機能を果たせる施設とする。
- 市民サービス機能の充実
  - 誰もが利用しやすく、人にやさしい施設とする。
  - 市民との協働、連携が図れ、広く親しまれる施設とする。
- 経済性と環境への配慮
  - 華美な設計を排し、建設費の抑制に努める。
  - 省エネルギーに配慮し、経済的で環境にやさしい施設とする。
  - 社会環境の変化に迅速かつ柔軟に対応できる施設とする。

基本計画の策定(平成25年度) 基本方針の具体案について更に検討する。

## 新庁舎建設に向けたスケジュール

年 度	事業の流れ	内 容	基 金
平成 2 4	基本構想	<p><b>基本構想段階</b> 経緯と背景, 基本理念, 基本方針, 建設位置, 建設規模, 財源等をまとめる</p> <p>設計・工事を進めるうえでの根幹となる設計与件</p>	積立額 1億円 積立累計 6億円
平成 2 5	基本計画	<p><b>基本計画段階</b> 基本構想で提示された設計与件を整理し, 整備方針やゾーニング等の検討を行う 基本構想をより具体化し実現するためのプラン</p>	積立額(予定) 1億円 積立累計(予定) 7億円
2年程度	基本設計  実施設計	<p><b>基本設計段階</b> 備えるべき機能や性能・内外のデザインなどを図書としてまとめ完成時の姿を明確にする 基本的事項を決定し, 図面・仕様を整理・作製</p>	以降, 毎年度積立 予定 (1億円) 
	<p><b>実施設計段階</b> 基本設計図書に基づいてデザインと技術面の両面にわたって詳細な設計を進める 基本設計に基づき工事実施のための設計図書を作製</p>		
2年程度	建設工事  竣工	<p><b>建設工事段階</b> 実施設計図書を基に, 工事施工会社が工事請負契約に基づき新庁舎を建設する</p>	

現時点でのスケジュールであり, 今後の計画において変更となる可能性あり。